

タイムリーレポート

～ 1分間で読める ～

平成21年1月27日発 第4号

株式会社 プロセットコーポレーション

代表取締役 田中俊春

このレポートは、
田中俊春が
名刺交換を
させて頂いた方へ
お送りしております。



賃貸アパート・マンションの空室対策！ 賃貸需要は、今後どう動く？

空室対策の2大注目ポイント！



需要と供給

比較検討



総人口、世帯数の推移（2000年～2025年）から、賃貸需要を考察！

（ ）内は増減

	全国				首都圏	
	総人口（増減）	世帯数（増減）	単身者 世帯数		単身者 世帯数	
			男性	女性	男性	女性
2000年	12,693万人	4,678万	698万	593万	258万	172万
2005年	12,777万人 (84万人)	4,906万 (228万人)	757万 (59万人)	665万 (72万人)	275万 (17万人)	194万 (22万人)
2010年	12,718万人 (-59万人)	5,029万 (122万人)	795万 (38万人)	722万 (57万人)	285万 (10万人)	212万 (18万人)
2015年	12,543万人 (-175万人)	5,060万 (31万人)	829万 (34万人)	769万 (47万人)	295万 (10万人)	229万 (17万人)
2020年	12,274万人 (-270万人)	5,044万 (-16万人)	860万 (30万人)	807万 (38万人)	305万 (10万人)	243万 (14万人)
2025年	11,927万人 (-347万人)	4,984万 (-60万人)	882万 (22万人)	834万 (27万人)	313万 (8万人)	254万 (11万人)

総務省統計局、国立社会保障・人口問題研究所の最新の資料による。平成22年（2010年）以降は予測。



ご存じのように、日本の人口は2005年から減少に転じています。

世帯数もいずれ減少。

単身者の世帯数は、全国・首都圏ともに、今後も増加。特に女性単身者の伸びが顕著。（ただし高齢者も含まれる。）
首都圏の女性単身者が、賃貸需要として一番の「ねらい」

結論

単身者向けの、賃貸アパート・マンションの需要が今後も堅調。
特に『首都圏』での『女性単身者』への需要をねらいたい。

次回は、今回のレポートを踏まえて、空室対策「比較検討」のポイントについてお送りいたします。

どうぞ、お気軽にお問い合わせ下さい。

「資産と幸せを結びつける」財産・財務のコンサルティング会社

株式会社プロセットコーポレーション

TEL 03-5784-3118 FAX 03-5784-3119 E mail tanaka@prosett.com URL http://www.prosett.com

「物納」をお考えの方、ぜひ、ご相談下さい！
過去、数10件の物納に携わってきました。第3号の事例も、実際に行ったものをもとにしております。

東京都渋谷区神南1-20-15 和田ビル8階

「お近くへお越しの際は、ぜひお立ち寄り下さい。」